



福王寺だより

旅行のキャンペーンも国で推奨して、少しずつコロナ前の日常が見え隠れしております。暗いニュースばかりですが、一歩ずつでも明るい場所に歩んでいきたいですね。

祈りと願い

「いのちの政治学」という本の中に、こんな話が書かれていて印象に残りましたのでご紹介させていただきます。

祈りは、宗派の違いを超える行為ですね。神を信じていない人ですら、祈るわけです。

そして、祈るといふのは、「こちら」の声を「あちら」に届けることである以上に、まず、「あちら」の声を聞くことだと思えます。「こちら」の声を届けるだけであれば、それは願いにすぎない。

「あちら」とは、必ずしも神とは限りません。隣

人かもしれないし、今は亡き死者かもしれないし、歴史そのものかもしれない。

そうした自己以外のものに耳を傾けるということですね。

そうして自分以外の声を聞きながら行動を重ねていくのと、自分が正しいと思うことだけをやるといふのでは、たどりつく場所は絶対に異なると思うのです。

「正しいからやるんだ」では、自分本位でとても弱いというような事を書いています。

「合格しますように」、「あれが手に入りますように」というのは祈りでなく願ひとなり。

自分の力ではどうしようもなくなつたときに、言葉にすならぬ形で祈つていたという経験は私達にも何かしらあると思うのです。

そうした「あちら」の声を聞きながら共に生きていく、

そうした世界を歩んでいく、

こうした感覚を養つていくことが現代

の社会だ



からこそ必要になってくるのではないのでしょうか。

いのちは連続したものです。今の私があるのは過去の先人たちがいたからです。そして、過去の人達も子どもたちが幸せであるよう願ひ、私達もまた幸せであるよう願ひ、次の人たちへバトンを渡していつています。

もうすぐお盆です、ご先祖様、親、こうした「あちら」の声を聞く、お寺の行事も続きますが、皆様にとって「あちら」とつながる良い場所にしていきたいです。

弘法大師も「同行二人」、常にあなたと一緒にいますと誓いをたて私達を導いてくれています。

来年は、四国の八十八ヶ所巡礼へ参ります。かけがえのない祈りの時間となれば幸いです。是非ご参加ください。

「右仏 左我と 合わす手の なかぞゆかしき 南無の一声」



行事のご案内

「夏下座行」

七月十八日 午前八時三十分

於 津別町福王寺

「地藏盆(万灯会)」

七月二十四日

午後五時頃集合 六時よりお参り

先祖供養・水子供養・人形供養

八十八ヶ所お参り

(コロナの様子をみながら縮小するかもしれません。)

於 津別町福王寺

「盂蘭盆会」

八月十五日 十三時半 北見別院

八月十六日 十時 津別福王寺

※津別と北見別院お参りの日付違いますので注意下さい。

※コロナの都合で、普段どおりにはできないかもしれませんが、納骨堂等お参りは出来るようになります。

法事などインターネットでお参りできます。お問い合わせください。

寺院報告

婦人部の有志による花壇作り



成年部下座行



垣根の高さを低くしました！
またいつも草刈りや大変な仕事
ありがとうございます！

「きれいな場所を作る」、お寺に来られた方が、気持ち良いと思える場所が皆様のお力でありたっています。

令和五年4月

四国八十八ヶ所巡礼予定

来年は弘法大師生誕1250年です。記念に四国を巡礼したいと思います。

